

地域研究委員会・地球惑星科学委員合同地理教育分科会学校地理教育小委員会（第4回）
議事要旨

2019年6月30日（日）於：東京大学駒場キャンパス5号館1階514教室 14:45～16:00
出席（敬称略）：井田（委員長）、秋本（副委員長）、青柳、揚村、池、泉、碓井、志村、杉本、関谷、高木、高橋、滝沢、竹内、平澤、松井、吉田、今野（幹事・記録）
欠席：浅川、須原、山崎、吉水（敬称略）

1. 前回の議事録・議事要旨の確認

2. 「地理総合」の理解を深めるための研修会などについての情報交換

6/17 香川県高校教育研究会地理部会 地理総合

7/28 東京都地理教育研究会

8/1～2 全国地理教育研究会 富山大会

8/4 兵庫県地理学協会 地理総合

8/6 宮城県高校地歴部会 地理総合

9/12 釧路商業高校 地理総合公開授業

9/19 群馬県教育センター

9/19 府中高校 歴史総合 公開授業

歴史総合の研究会の開催の確認をする。

教育課程編成は現在進行中。地理総合について、現場としては入試科目との関連性が関心事である。

※地理教育に関する研修会の実施状況調査アンケート（地理教育専門委員会）

日本地理学会会員以外にも広く周知し、協力願う。

3. 2022年以降の高校カリキュラムについて

専門高校におけるカリキュラム編成、必修科目をどこに置くか。

進学校と中堅校で科目の置き方に差異。移行期の教員配置

4. 教職大学院についての情報交換

日本社会科教育学会シンポジウム「社会科教育論と教師教育」

教科専門教育が弱い

日本社会科教育学会大会 特定課題研究 「教職大学院」

教員免許更新における地理総合

5. 小学校からの関連について

小学校3年「身近な地域の学習」が市町村学習へ重点シフト

10時間から4時間への指導計画の減少、フィールドワークせずに机上学習に終始する可能性がある。

生活科のまちたんけん（フィールドワーク）に地図が明示されていない。

6. 提言に向けて

- ・研修のあり方。

- ・新学習指導要領の徹底。

カリキュラム編成。平成元年「現代社会」の経験をふまえて

系統・地誌のベタな内容からの脱却。総合的な探究の時間との連携。

地域を担う人材育成に資する地理総合に

- ・小学校でのフィールドワーク機会の減少、中学校社会科と地理総合との接続

- ・教職大学院のあり方。

7. その他

- ・地理院地図を使う！

- ・神戸大附属での地理院地図活用の実践例

地理院地図を使ってみよう。生徒はスマホ利用で。災害時、最短経路は最適経路か。